

塩谷郡市医師会だより

平成18(2006)年4月25日 第41号

社団法人 塩谷郡市医師会 さくら市桜野 1319 番地 3 さくら市氏家保健センター内 Tel 028(682)3518

Contents ・平成17年度第5回委員会報告 ・「かかりつけ医のココロ」出版記念パーティー
・塩谷郡市医師会第59回定時総会

平成17年度第5回役員会報告

平成18年3月13日(月)午後6時30分より氏家保健センター医師会事務室にて開催された。

出席者：尾形会長・小林・戸村副会長・山田・西後藤・奥山・根本・阿久津博・大和田・軽部二井谷・木内・尾形新・川原事務長

議題1 次期総会について

開催日時は4月8日(土)午後5時30分と決定しました。

議題2 決算・予算について

西会計担当理事から2月28日現在の決算状況について説明がありました。当初予算と大差なく経過しており、年度末の決算額はほぼ予算どおりに推移するだろうとのことです。

また、予算については医療機能分化推進助成金の県の補助金がなくなるため、医療機能分化事業費は前年度どおり予算を計上することになりました。決算・予算とも全会一致で承認され、総会に諮られます。

議題3 塩谷郡市医師会役員改選について

3月25日(土)午後5時に会長選挙の締め切り後、総務会を開き具体的に検討されます。

議題4 その他

木内先生より、福島県立大野病院産婦人科医の加藤克彦先生の不当逮捕に関する経緯について話がありました。塩谷郡市医師会役員一同として県医師会に抗議文を提出することが承認されました。

平成17年度編集後記

阿久津正之

2年前、町医師団役職の持ち回りから、郡市医師会理事・広報委員長・県代議員・県情報化推進委員など一気に引き受けました。医師会だよりの発行は対内広報であり、何とか書き続けました。しかし広報活動でさらに重要なのは、市民に対する対外広報かと思えます。日本・県医師会でも効果的な対外広報を模索中のようですが、コストパフォーマンスを考慮するとあまり良い方法はありません。その点において、第1回塩谷郡市医師会公開講座の成功などは、地元医師会として効果的な対外広報になったかと感じました。

社団法人塩谷郡市医師会第59回定時総会

平成18年4月8日(土)午後5時30分よりさくら市氏家保健センターにおいて開催されました。

出席者28名、委任状出席者48名、合計76名で会員数97名の過半数を満了し、定時総会が開催されました。

冒頭、物故された廣木文雄先生、斉藤和夫先生、村井敬爾先生のご冥福を祈り全員黙祷を捧げました。

川原事務長から会務報告、尾形会長から役員会、委員会に関する報告後、木内議長により滞りなく議事進行し、午後7時閉会しました。



第1号議案 平成17年度塩谷郡市医師会事業報告並びに収支決算報告の承認を求める件

尾形会長から医師会医学講座、市民講座、こども診療室関連など平成17年度事業報告がなされ、西健太郎会計担当理事から決算についての説明がありました。次いで軽部監事より帳簿証票はすべて適正であるとの監査報告があり、全会一致で承認されました。

第2号議案 平成18年度塩谷郡市医師会事業計画並びに収支予算案の承認を求める件

西健太郎会計担当理事から予算書について説明があり、全会一致で可決されました。

第3号議案 役員改選に関する件

選挙管理委員会村井信之委員長から塩谷郡市医師会会長選挙について経緯の説明がありました。新会長に尾形会長が無投票当選したことが報告され、当選証明書が手渡されました。

塩谷郡市医師会ホームページ	広報委員会編集部	医師会事務局
U R L http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/	阿久津博美 akutsuiin@crocus.ocn.ne.jp	川原 shioya@triton.ocn.ne.jp
M L shioya-ml@tochigi-med.or.jp	戸村 光宏 mtomura@sirius.ocn.ne.jp	坂和 sakawa@e-shioya.jp



◆議長の木内敦夫先生

次いで以下の役員人事が発表されました。
平成 18・19 年度塩谷郡市医師会役員
 (敬称略)

役職	氏名	再新
会長	尾形直三郎	再
副会長	小林 正樹	再
	戸村 光宏	再
理事	西 健太郎 (会計担当)	再
	山田 聡	再
	後藤 哲郎	再
	軽部 敏昭	新
	奥山 和明	再
	根本 鞆雄	再
	岡 一雄	新
	阿久津博美	再
	本間 玄規	新
	尾形新一郎	新
	植木 雅人	新
監事	木内 敦夫	新
	谷口 雄一	新

協議事項

○小林副会長から、県医師会医療安全対策委員会・医事紛争対策委員会合同会議の報告がなされた。

維持紛争は年々増加し、特に診療所の発生件数割合が増加している。医療不信の増大や医学知識の増加、市民意識の変化が診療所にも及んできたと考えられる。患者の誤解や説明不足が主な原因であると報告された。

○木内議長から、福島県大野病院の産婦人科医師の逮捕に関して、さきに塩谷郡市医師会として抗議声明を出したが、全国的な署名、募金活動が展開されていることが報告された。

会長から、塩谷郡市医師会として募金を行うことが提案され、全会一致で可決した。

総会終了後、さくら市役所裏のカーラロゼッタにおいて懇親会が開かれました。松村さくら市医師団長の乾杯で始まり、新理事からの一言やこども診療室初日の報告などがなされ、和やかなひとときを過ごしました。



◆カーラロゼッタにて

トピックス

「かかりつけ医のココロ」出版記念パーティー

下野新聞に掲載された塩谷郡市医師会リレーコラム「かかりつけ医のココロ」の出版記念パーティーが4月19日午後7時より東武ホテルグランデ「竹園」にて行われました。下野新聞社からは担当した4名の方が、当医師会からは14名参加しました。

はじめに、尾形会長から、本の出版の反響は予想以上に大きく、県内はもとより福島県在住の方からも問い合わせがあった。医師会と地域との距離が縮まったと感じた。我々の掲げる行動する医師会の大きな成果である。と、挨拶があった。編集を担当した岡理事から、執筆した会員の皆様と新聞社の担当者にお礼の挨拶があり、すでに「かかりつけ医」の第二弾の構想もあるとのことでした。

下野新聞社の担当者から、今回の連載の原稿は専門的な内容であったが完成度が高く手直しも少なく済んだ、とお褒めの言葉もいただきました。一同戸村・岡両先生の添削のおかげだと納得しました。

その後は執筆した会員からコラムについての苦勞談などひとつずつ話があり、盛会のうちに閉会となりました。(文責・阿久津博美)



◆司会進行の岡理事

◆写真中央 下野新聞社 森内くらし文化部

●平成 18 年度会議等年間スケジュール

5月 8日	第1回役員会	11月 13日	総務会
6月 12日	総務会	12月 11日	第3回役員会
8月 7日	総務会	2月 13日	第4回役員会
9月 11日	第2回役員会	3月 12日	第5回役員会

- ◆10月 1日 市民公開講座
- ◆7月 28日 納涼祭 (高根沢)
- ◆1月 26日 新年会 (さくら)